

バイオクラスター形成促進事業 平成26年度の実績

概要

山形県内企業等への慶應義塾大学先端生命科学研究所のメタボローム解析技術を中心としたバイオ研究シーズの周知や県内企業とのバイオ共同研究の推進等、県内の先導的なバイオ研究成果の活用による産業の振興を図るため、「コーディネート体制整備事業」、「産学官連携交流推進事業」、「共同研究シーズ事業化支援助成事業」の3つの事業を実施した。

1. コーディネート体制整備事業

慶應先端研の研究成果の県内での活用を促進するため県内企業と大学・公設試験研究機関等との産学連携コーディネート、共同研究シーズ事業化支援助成事業の紹介や応募に係る支援等、コーディネーター3名の体制で活動。

〔企業・研究機関等訪問実績〕

企業・研究機関等訪問数
(延べ訪問件数)

201 機関・団体
(498件)

2. 産学官研究交流推進事業

(1) 慶應先端研等の研究を紹介する「研究発表会」の開催

- ① 慶應先端研及び、同大学発のバイオベンチャーの活動と研究内容を紹介する「未来を拓く若者のための起業チャレンジ講演会」を開催（平成26年5月開催、参加者450名）
- ② 慶應先端研の研究内容や企業との共同研究成果等を発表する研究発表会「未来を切り拓くバイオ研究」を開催（平成27年2月開催、参加者134名）

(2) 慶應先端研等と企業との「研究交流会」の開催

- ① 慶應先端研等と山形県酒造組合との共同研究に向けた交流会を開催（平成26年9月開催、参加者34名）
- ② 慶應義塾大学発バイオベンチャー企業が取り組む研究開発プロジェクトを紹介するセミナーを開催（平成27年1月開催、参加者160名）

(3) 国等の競争的資金獲得に向けた「検討会」の開催

- 農林水産省や中小企業庁に関連した外部資金の獲得に向けた検討会を開催した。（平成27年1月に延べ3回開催）

3. 共同研究シーズ事業化支援助成事業

(1) バイオ技術事業化促進助成事業

慶應先端研の研究成果等を活用して事業化等を目指す県内企業等を対象にその研究開発事業費の一部を助成支援した。（シーズ探索型6件、事業化推進型3件を採択）

シーズ探索型（新規①～③、継続④～⑥）

- ① 「メタボローム解析を活用した自社製マッシュルームの機能性向上と加工品開発」
有限会社舟形マッシュルーム（舟形町）
- ② 「地域資源の新たな活用を目指した探索と製品開発」
株式会社庄内クリエイト工業（鶴岡市）
- ③ 「メタボローム解析を活用した唾液診断マーカーの評価と分析条件の検討」
株式会社サリバテック（鶴岡市）
- ④ 「メタボローム解析を活用した有機栽培スイートバジルの評価及び新商品開発に向けた研究」有限会社後藤屋（高畠町）
- ⑤ 「漢方生薬「カンゾウ」栽培における薬用成分の生成に関与する関連物質等の探索及び栽培諸条件の検討」山形企画株式会社（真室川町）
- ⑥ 「耕作放棄地から採取したオイル産生藻の同定と培養条件の検討、及び藻類を活用した商品開発」株式会社モス山形（山形市）

事業化推進型（新規①・②、継続③）

- ① 「ハイレイックピーナッツ胚芽の高付加価値化と商品開発」
株式会社でん六（山形市）
- ② 「米糀を活用した野菜飲料における健康機能性の研究と事業化に向けた検討」
榎引農村工業農業協同組合連合会（鶴岡市）
- ③ 「山形県産農産物の探索、製造、評価、開発の一貫システムを用いた新規化粧品原料の製品化」株式会社高研（鶴岡市）、日東ベスト株式会社（寒河江市）
株式会社機能性ペプチド研究所（東根市）

(2) メタボローム解析技術活用支援助成事業

メタボローム解析技術を活用して新製品開発・販路拡大等を目指す県内企業を対象に解析費用の一部を助成した。（少数検体型試験2検体を採択）

【成果事例】

（株）高研では、日東ベスト（株）、（株）機能性ペプチド研究所と連携し、慶應先端研のメタボローム解析を活用した化粧品原料を一貫的に開発できるシステムを構築すると共に、そのシステムにより、庄内産メロンを原材料とした化粧品原料を商品化した。

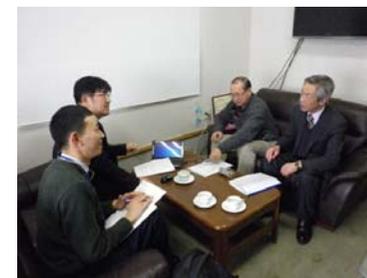


品名：メロン子コーケン

バイオクラスター形成促進事業 平成27年度の事業計画

1. コーディネート体制整備事業

- (1) 県内企業等への慶應先端研の研究シーズ等の紹介
- (2) 県内企業等の課題解決に向けた県内企業等と研究機関とのコーディネート
- (3) 共同研究シーズ事業化支援助成事業の紹介・応募などの支援
- (4) 効果的な支援を行うため他支援機関所属のコーディネーター等との連携強化



2. 産学官研究交流推進事業

- (1) 慶應先端研等の先進的な研究や県内企業との共同研究成果等を紹介する「研究発表会」の開催（1回）
- (2) 慶應先端研や同大学発のバイオ・ベンチャー企業が有する研究成果・シーズの活用を促進する「研究交流会」の開催（2回）
※うち1回は、東京都内で開催する。
- (3) 国等の競争的資金獲得に向けた「検討会」の開催（2回）



3. 共同研究シーズ事業化支援助成事業

(1) バイオ技術事業化促進助成事業

新製品開発や新技術開発のため、慶應先端研の研究成果等を活用して事業化等を目指す県内企業等を対象にその研究開発事業費の一部を助成支援する。

〔採択件数〕 シーズ探索型 6件（新規 4件、継続 2件） 事業化推進型 3件（新規 1件、継続 2件）

〔公募期間〕 平成27年4月13日～6月12日

〔第一次公募締切〕 平成27年5月15日

〔助成金交付決定・事業開始〕 平成27年6月1日（予算上限に達したことから、以降の公募を中止）

〔平成26年度からの継続事業〕 シーズ探索型 2件 / 事業化推進型 2件

シーズ探索型 (事業期間:1年)

- ①「**地域資源の新たな活用を目指した探索と製品開発**」
株式会社庄内クリエート工業 (鶴岡市)
- ②「**メタボローム解析を活用した自社製マッシュルームの機能性向上と加工品開発**」
有限会社舟形マッシュルーム (舟形町)

事業推進型 (事業期間:1年)

- ①「**ハイオレイックピーナッツ胚芽の高付加価値化と商品開発**」
株式会社でん六 (山形市)
- ②「**米糲を活用した野菜飲料における健康機能性の研究と事業化に向けた検討**」
櫛引農村工業農業協同組合連合会 (鶴岡市)



〔平成27年度新規採択事業〕 シーズ探索型 4件 / 事業化推進型 1件

シーズ探索型 (事業期間:2年)

- ①「**山形県産酒の「美味しさ」評価基準の開発**」
山形県酒造組合 (山形市)
- ②「**新規魚介類調味料(魚醤)の開発:メタボローム解析を活用した加工・製法の検討**」
山形県農村工業農業協同組合連合会 (酒田市)
- ③「**メタボローム解析を活用した日本酒の醸造工程での検討と品質の高度化**」
富士酒造株式会社 (鶴岡市)
- ④「**腸内環境評価技術の開発**」
株式会社メタジェン (鶴岡市)



事業推進型 (事業期間:2年)

- ①「**唾液検査の事業化に向けた大規模検証とシステム開発**」
株式会社サリバテック (鶴岡市)



(2) メタボローム解析技術活用支援助成事業

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ（株）のメタボローム解析技術を活用して新製品開発・販路拡大等を目指す県内企業を対象に、解析費用の一部を助成する。

〔採択予定件数〕 少数検体型 6検体 / 多数検体型 2件

〔募集期間〕 平成27年4月13日～12月末日

4. 先端バイオテクノロジー活用基盤強化事業

- (1) 慶應先端研や同大学発バイオ・ベンチャー企業の先導的なバイオ研究成果活用の基盤を強化すると共に、共同研究や事業化等の促進を図るため、コーディネーターや研究員等を配置する。**
- (2) 県内での次世代新素材の事業化による産業振興を促進するため、地域バイオマス資源の有効活用に向けた研究会を開催する。**